

日立情報、中国でSE養成

講師派遣 専門学校に講座

日立情報システムズは今月から中国でシステム技術者（SE）の養成に乗り出す。中国・済南市の専門学校に講座を開設。一年にわたってシステム開発プロジェクトの運営ノウハウなどの実践的な内容を日本語で教える。三年間で二百人程度の技術水準の高いSEを育て、現地にある同社の開発委託（オフショア）拠点で採用し、競争力を強化する。

開発委託拠点で採用

同社が講座を開設する「橋工エンジニアリング専門学校」。日立情報は「済南市凌佳」本と中国の橋渡し役とな

日立情報の主な講座内容

プロジェクト管理概論	大規模・中小規模のプロジェクト管理に必要な一般的な知識、技法を学ぶ
見積もり実践演習	見積もり技法を教育し、プロジェクト計画と実績の差異を分析。サービス仕様書の作成演習も実施
論理的な思考と記述特論	オフショア先に送られる仕様書を正確に理解し、キーワードを明確にした思考力の養成と質問記述力の養成
部下の育成・チームワーク演習	プロジェクトの納期・品質・価格・生産性向上を図るためのチームワーク向上と部下の育成マネジメント演習

るSEの養成を目的に昨年七月に設立された。現在は二十人程度が在籍しており、日立情報が講座を開設する今月から本格的に稼働する。

日立情報はこの専門学校に部長級の十六人を講師として派遣。それぞれの講師が一つずつ講座を受け持ち、年間四百時間にわたってSEに必要な実践的教育を施す。学費は年間一万元（約十四万五千円）。納期や品質、コストに

目配せしてシステム開発を進める「プロジェクト管理」の講座や、日中の言葉や文化の壁を越える「コミュニケーション講座」、「部下の育成・チームワーク演習」などの講座がある。失敗したプ

ロジェクトを題材として五人一組で討議する事例研究を繰り返し実施し、大学では学べない実践的なノウハウを吸収できるようにする。

日立情報はオフショア強化を狙って、中国とベトナムの計四拠点の拡充を急いでいる。済南市の拠点は現在、約七十人のSEを抱える。

専門学校の卒業生を原則的に採用するとともに、新卒・中途採用も並行して進め、二〇一二年

までに約四百人に増員する。

講師として専門学校に派遣した社員についても中国での経験をもとに

ビジネスの視野を広げさせ、オフショアなどグローバルな事業を運営できる人材の育成につなげる。